

インフルエンザ予防接種

実施期間 10月15日(金)～令和4年1月31日(月)

インフルエンザ予防接種は、必ず電話などで医療機関へお申し込みの上、受診してください。

※今年はインフルエンザワクチンの供給が遅れ、接種をお待ちいただく場合があります。

【高齢者と乳幼児】 予防接種指定医療機関 (住所/電話番号)

かとう小児科医院 (結梗が丘5 / 65-5311)	高乳	こもりクリニック (つつじが丘北5 / 68-8555)	高乳	松田整形外科 (鴻之台2 / 63-1711)	高乳
なばりこどもクリニック (鴻之台3 / 62-2105)	乳	さかい循環器内科クリニック (希央台3 / 62-0500)	高乳	松永整形外科クリニック (希央台4 / 64-7300)	高乳
みらいのこどもクリニック (希央台4 / 62-3888)	乳	すぎのクリニック (鴻之台2 / 62-1700)	高乳	夢眠クリニック名張 (東町 / 64-1717)	高乳
赤目養生診療所 (赤目町丈六 / 64-1055)	高乳	卓山医院 (結梗が丘南1 / 65-0001)	高乳	森岡内科クリニック (丸之内 / 63-0003)	高乳
秋山整形外科クリニック (蔵持町原出 / 62-7000)	高乳	田合医院 (木屋町 / 63-0271)	高乳	矢倉医院 (新田 / 65-2251)	高乳
東整形外科 (結梗が丘8 / 65-2130)	高乳	ちひろ内科クリニック (希央台4 / 41-0005)	高乳	やすだクリニック (鴻之台1 / 61-2332)	高乳
上坂内科 (赤目町丈六 / 64-8211)	高乳	名張市立病院 (百合が丘西1 / 61-1100)	乳	山尾医院 (つつじが丘北4 / 68-1055)	高乳
うえなみ内科クリニック (鴻之台2 / 63-9321)	高乳	寺田病院 (夏見 / 63-9001)	高乳	やまがみ眼科 (希央台4 / 62-0888)	高乳
おおふち医院 (梅が丘南1 / 62-7800)	高乳	信岡医院 (結梗が丘5 / 65-0023)	高乳	湯村内科 (松崎町 / 61-1212)	高乳
釜本医院 (木屋町 / 63-0345)	高乳	はしもと総合診療クリニック (蔵持町 / 61-3366)	高乳	百合が丘クリニック (百合が丘東1 / 64-2000)	高乳
上久保整形外科クリニック (松崎町 / 63-2211)	高乳	福喜多耳鼻咽喉科 (鴻之台3 / 63-1133)	高乳	わたなべ整形外科 (東町 / 64-1115)	高乳
かも内科消化器科 (結梗が丘2 / 66-1190)	高乳	藤本産婦人科 (平尾 / 63-0995)	高乳	黒田クリニック (伊賀市 / 52-2099)	高乳
結梗が丘四番町診療所 (結梗が丘4 / 65-0102)	高乳	ほりいクリニック (百合が丘東2 / 61-1231)	高乳	城医院 (伊賀市 / 52-0017)	高乳
喜多医院 (結梗が丘1 / 65-2088)	高乳	堀井内科 (結梗が丘5 / 65-5355)	高乳	青木整形外科 (伊賀市 / 52-5588)	高乳
木野整形外科 (結梗が丘4 / 67-1515)	高乳	前沢整形外科 (桜ヶ丘 / 63-1008)	高乳		
久保耳鼻咽喉科クリニック (結梗が丘2 / 65-7111)	高乳	ますだ呼吸器科クリニック (瀬古口 / 41-2277)	高乳		

※ 高は高齢者、乳は乳幼児

高齢者 個人負担金 2,000円

対象 名張市に住民票のある人で、①または②に該当する人

①65歳以上の人

②60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の日常生活活動が極度に制限される程度の障害、またはHIVによる免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害のある人 ※年齢は接種時点

個人負担金 2,000円

※生活保護世帯の人は「高齢者等インフルエンザ予防接種無料申立書」による申請により無料

※指定医療機関(上表で「高」となっている医療機関)以外で受診する場合は、事前に健康・子育て支援室へご連絡ください。

※予診票は、各医療機関、または市役所1階健康・子育て支援室で配布します。

詳しくは市HP

乳幼児 助成が受けられます

対象 名張市に住民票のある生後6か月から小学校就学前の乳幼児

助成額 予防接種1回あたり2,000円 ※ただし、一人につき期間中2回まで

※指定医療機関(上表で「乳」となっている医療機関)での接種は、窓口で助成額を差し引いた額をお支払いください。

※指定医療機関以外での接種は、予防接種を受けた後、領収証など必要書類を健康・子育て支援室へ提出してください。後日助成額を口座振り込みます。申請手続き期限は、令和4年3月31日(日)まで(申請時の持ち物は、領収証、母子健康手帳、通帳、印鑑)

詳しくは市HP



ワクチンの供給が遅れ、接種をお待ちいただく場合がありますが、新型コロナと同様、感染予防にしっかりと取り組んでください

厚生労働省によると、インフルエンザワクチンが、昨年よりも遅れたペースで供給される見通しです。これは、世界的に新型コロナワクチンの製造が急がれており、滅菌フィルターなどの資材不足が生じていることなどが原因です。10月の供給ペースは遅いものの、12月にかけて少しずつ安定する見込みです。そのため、インフルエンザ予防接種をお待ちいただく場合があります。

こうした中、インフルエンザも新型コロナウィルスと同様に、①マスクの着用、②こまめな手洗い、③人混みや街中への外出を控えるようにすることなどが効果的な予防につながりますので、感染予防にしっかりと取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。



健康・子育て支援室 田藤 裕子

Q5 予防接種しても、かかったことがあるけれど…

A 重症化を防ぎます

インフルエンザ予防接種をしても、絶対にインフルエンザにかからないというものではありません。大切なのは、感染しても「重症化」しにくくすることだといえます。

研究では、予防接種で発症予防の効果が約60%上がるとも言われています。インフルエンザの予防接種をすることで、発症予防や、その後の重症化などを予防する効果があるのです。



今年はインフルエンザワクチンの供給が遅れ、接種をお待ちいただく場合があります

今年も始まります インフルエンザ予防接種

今年も始まります

気になる5つのギモンにお答えします

皆さんは、毎年インフルエンザ予防接種をしていますか？
今年も10月からインフルエンザ予防接種が始まります。インフルエンザにかかると発熱や咳、倦怠感、ひどくなると肺炎になる可能性があります。
今号では、「新型コロナワクチン接種と同時に接種が可能なのか」など、コロナ禍でのインフルエンザの予防方法や予防接種についてご紹介します。

健康・子育て支援室 ☎63-6970

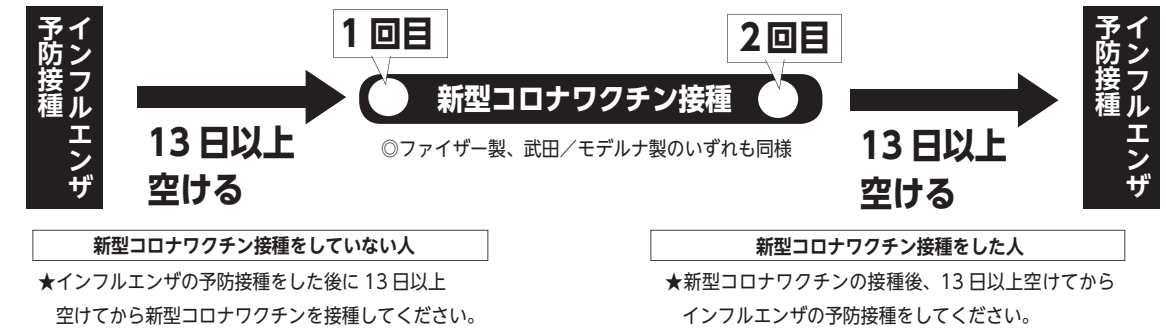


Q1 新型コロナワクチン接種をしたけれど、インフルエンザの予防接種をしてもいいの？

A 新型コロナワクチン接種前後、13日以上の間隔を空けてください

インフルエンザの予防接種をする場合は、新型コロナワクチン接種の前後13日以上の間隔を空けるようにしてください。接種間隔に注意さえすれば、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンを組み合わせることは、特段の注意はありません

んが、発熱や前のワクチン接種部位の腫れがないことや、体調がよいことを確認し、不安な点があれば、医師に相談してください。



Q4 1回接種でちゃんと効果があるの？

A 大人は1回で十分な効果

インフルエンザワクチンの取扱いには「13歳以上の人は1回または2回接種」とされていますが、1回の接種で十分な抗体が得られるとされているため、13歳以上の人は、1回の接種を原則としています。

ただし、13歳未満の人は、1回接種後よりも2回接種後の方がより高い抗体が得られることから、2回の接種を行っているのです。

Q3 インフルエンザは今年も流行しそうなの？

A 油断はできません

この冬のインフルエンザ流行について、厚生労働省は、「海外からの人の動きが制限されており、マスクの着用など感染予防対策が徹底できれば流行しない可能性もある」としています。

その一方で、昨年インフルエンザにかかった人が少なかったため、「インフルエンザに対する免疫がなく、感染者がさらに増加するおそれがある」との、日本ワクチン学会の見解もあります。

Q2 インフルエンザは風邪とどう違うの？

A 全身症状が急に現れます

風邪は、一般的にいろいろなウィルスで起こり、のどの痛みやくしゃみ、咳などの症状がほとんど。全身症状はあまり見られません。

一方、インフルエンザは、インフルエンザウィルスに感染することで起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節・筋肉痛や、全身の倦怠感などの症状が急に現れるのが特徴の一つです。